



令和元年6月7日発行 中等新報第9号  
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

## 2年・3年登山 ～ それぞれの実感を大切に！ ～

前号で3年生の登山について紹介しましたが、同日(5/10)に2年生は**日本国**(標高555m)に登っています。国語科の取組で、2, 3年生の登山の感想を新潟日報に投稿しました。先日、日報投稿欄「窓」に2年生、3年生それぞれ掲載されたので文面を紹介します。

新潟日報「窓」(令和元年6月4日)・2年生

### 諦めずに登り切り満足感

関川村 佐藤灯芽香(13)

私が登山の経験を通して学んだことは、最後まで諦めないことです。  
村上市の日本国山のふもとに着いた時、山が思っていたよりも大きく、急で驚きました。本当にここを登るのかと思いました。  
いざ登り始めると、道がとても急で、木の根がたくさんあって登りにくかったです。暑さで、体調のすぐれない人も出てきました。  
多くの人は先に行ってしまう、私たちは最後の方になってしまいました。頂上に近づくと、会話の数も少なくなり、疲れてもうやめてしまいたい気分になりました。  
そんな時、先を登っていた友達が「もうすぐで頂上だよ」と声をかけてくれました。最後の力をふり絞り、ようやく頂上に着くことができました。私たちが着いたころにはみんなお弁当を食べていました。頂上はながめも良く、涼しかったです。  
下りは、すべりやすく危険でしたが、けがなく下りることができました。  
今回の登山を通して、最後まで諦めないことの大切さを知りました。振り返ると、楽しく登り切ることができて良かったです。

### 2年生登山の様子



日本国への第一歩。ワクワクです。



頂上は近い。見晴らしサイコー。

新潟日報「窓」(令和元年6月1日)・3年生



頂上でのひととき。「元気？」



ヤッター。日本国、けっこうきつかった。

### 山で触れた自然の美しさ

村上市 渡辺 知駿(14)

5月10日、私たちの学校の3年生は、「日本一小さな山脈」といわれる檜形山脈に登りました。友達と楽しく登り、二つのことを思いました。  
一つ目は、山にはありのままの自然があるということです。生き生きとした木や草を見ました。これほどきれいな木や草は、住宅地ではめったに見られないようなものでした。  
道中で見つけた虫やトカゲも、図鑑で見るのとは異なる美しさがありました。まるで山がありのままの自然を見せてくれる鏡のように感じました。  
二つ目は、山のマナーの大切さです。山を登る際のマナーで、人とすれ違うときはあいさつをするというものがあります。  
私は、こうしたマナーがなぜあるのだろうと疑問を持っていました。今回登山をして、感謝の意味があるのではないかと感じました。先に山に登り安全を確認してくれる、あるいは同じ時間、同じ場所で自然に親しむ、そんな人々への感謝や敬意を込めてのあいさつだと思いました。  
檜形山脈に仲間と登ったことは、大きな思い出になりました。

今年度最初の学校を離れての活動でした。2年生の事後のアンケートには、地元の方々と挨拶を交わしたときに感じた温もり、山頂からの眺望の美しさなど、各自が心に刻んだ印象が生き生きと記されています。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773  
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>